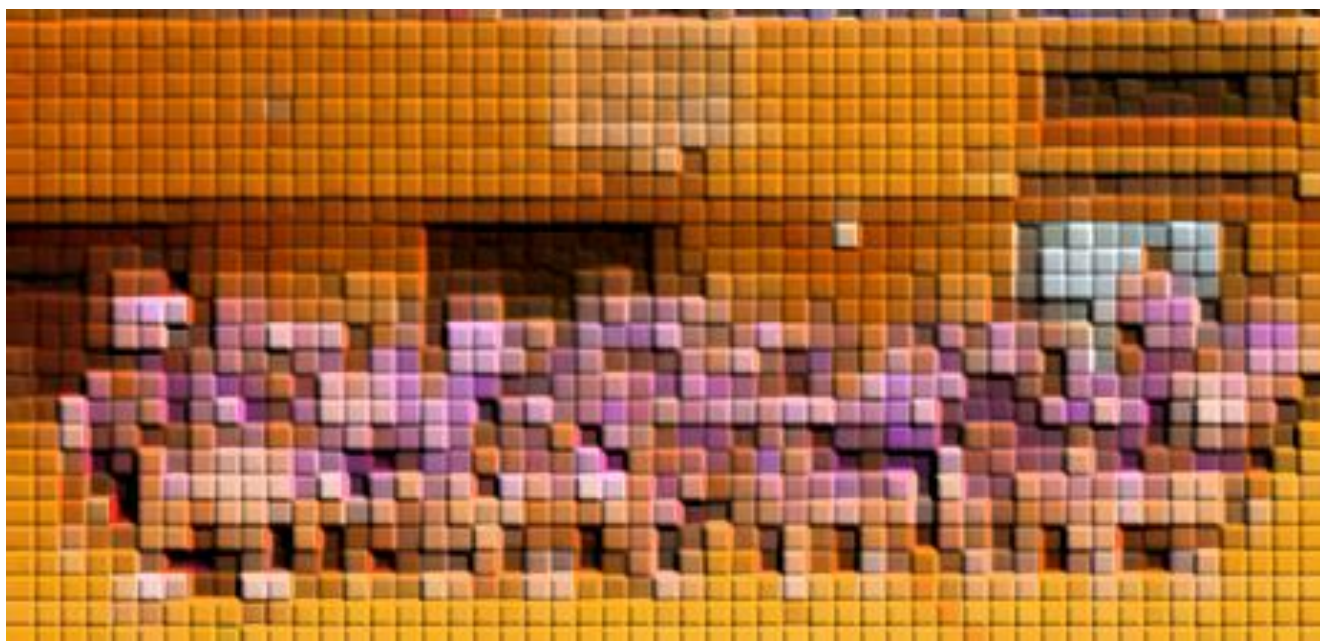


I J 学級通信

IJ 学級 学級通信 No. 5
令和 7 年 7 月 4 日 (金)



6月19日(木)東京ドームスポーツセンター東久留米の会場で多摩地区8校の特別支援学級生徒が集まり、第53回多摩特研バスケットボール大会が行われました。本校からも6チーム42名が参加し、1試合6分を各チーム3・4試合ずつ行いました。それぞれのチームで勝ち負けはありましたが、最後までフェアプレイで交流することができました。以下に生徒の作文(抜粋)を載せますので、お読みください。

僕が印象に残っていることは、みんなが全力で取り組んだことです。みんな応援や自分の試合をしていました。応援は大きな声を出して、喉がかわれている人もいました。試合は最後まで諦めないで全力で走ったり守ったり攻めたりして、負けていても諦めないで戦っていてとてもカッコ良かったです。(B1チーム 3年〇〇さん)

今回のバスケットボール大会を振り返って思ったことが二つあります。一つ目は、シュート率の向上です。今回の大会では、シュートが全然決まらなくて悔しかったので、次の大会では、シュートを決めたいです。二つ目は、先輩としてチームを引っ張っていきたいです。プレーでチームを引っ張る時に積極的に声をかけてチームや後輩をまとめていきたいです。(R3チーム 1年〇〇さん)

私は、今までバスケットをやった事はありません。それでも自分なりに頑張っていました。一試合目は、あきる野中の人達と戦いました。私は、シュートとドリブルに自信がないので、ディフェンスとパスに徹しました。だけど、初めての他校との試合ということもあり負けてしまいました。来年には、ドリブルとパスをもっと練習して、試合で活躍できるようになりたいです。(C3チーム 1年〇〇さん)

このバスケ大会はとても暑く、私はあまり汗をかかない系の人間だと思っていたのにとんでもない滝汗を流してしまい、とても驚いてしまった。そんなこんなで田無一中と試合をして自分の弱さが分かった試合であった。次の試合は、東久留米西の試合はギリギリ負けたという試合であった。最後はとても中学最後にふさわしい勝ちの試合でとても楽しいバスケ大会であった。(B2チーム 3年〇〇さん)

僕はバスケ大会に出るのが二回目で、先輩になって大会に臨んだのでとても緊張しました。シュートは決まりませんでしたが、チームの皆と協力しあって仲間がシュートを決めた時はすごく嬉しかったです。三回戦目は、惜しくも同点になってしまい悔しかったです。勝ち負けは関係ないという言葉思い出して、本当にその通りだなと思いました。(C1チーム 2年〇〇さん)

一試合目、僕は最初自分でシュートを入れることは無いと思っていたが、全試合合わせて七回入れることができて、自分でも驚いてしまった。そして、僕のチームは三試合全て勝つことができて嬉しかった。去年の三倍良いプレイが出来た。来年は最後のバスケ大会。今年の三倍頑張りたい。(C2チーム 2年〇〇さん)